

生徒くんがゆっくりでも一生懸命働く姿を見て、
私は自分の仕事ぶりを見直し、反省もした。

彼の仕事を振り返りながら、マニュアルを作ってみた。
勉強会で聞いたつけ。

「障害のある方が働きやすい環境は、
社員にも働きやすい環境になる」
こういふことか。

先生から連絡があり、

彼がまたそちらで実習したいと言っています。

何だかうれしいぞ！

3回の実習で、会社は彼の採用を決めた。
ハローワークから「指名求人」を出して雇用することも知った。



最初は、学校の友達と会う時間が少なくさびしそうだったが、
孤立しないよう周りで気を配った。
ひとつずつ指示を出せば、理解できることもわかってきた。
今では欠かせない人材だ。

「うちでも障害者雇用を

しなければならぬがどうしたらいいか…」と、
ため息をつく会社がある。

そんな時には、「まずは実習を受け入れてみては」と、
うちの会社の例を伝えることもある。

今では自信を持って、「うちの会社では
障害者雇用をしています」と言える。



自分のところだけで
何とかしようと思わず、
相談して連携できる
機関はいくつもある